

### 第3回 THE シガパークビジョン検討委員会 議事要旨

開催日時：令和8年2月10日（火） 9：30～11：30

開催場所：滋賀県危機管理センター

出席者：上田 洋平（滋賀県立大学地域共生センター）委員

高木 浩文（公益財団法人 淡海環境保全財団）委員

辻 祥子（滋賀県シェアリングネイチャー協会）委員

宮本 麻里（合同会社 LOCO）委員

岩崎 博論（武蔵野美術大学 造形構想学部）委員

廣瀬 香織（一般社団法人ママサポートコミュニティ）委員

※欠席 福井 亘（京都府立大学 生命環境科学研究科）委員

（敬称略）

議 事：1 開 会

2 議 題

第2回 THE シガパークビジョン検討委員会議事録について 資料-1

公園に関する意見聴取結果について 資料-2

THE シガパークビジョン骨子（案）について 資料-3

3 閉 会

議事要旨：

①第2回 THE シガパークビジョン検討委員会議事録について

- ・事務局より、第2回 THE シガパークビジョン検討委員会の議事録を説明。

②公園に関する意見聴取結果について

- ・世界的に長寿な地域（ブルーゾーン）は、歩く習慣が身近である場所が多い。モビリティ依存で歩く機会が減っている今、公園がそれを担保する役割となる。意識の高い人は散歩をするが、それ以外の人に対して、カフェなどの飲食機能は、利用目的として有効である。
- ・公園はお金もかからないため、とにかくおしゃべりをしたい10代などにとって、とてもいい場所となる。
- ・“利用する目的がない”人が多いため目的の作り方を工夫する必要がある。例えば「お花見ミーティング」など、会議室じゃなく空と木陰の下で行う会議などで公園を利用すれば“目的”となる。また健康づくりなどタイアップイベントやスポ少の送迎にくる親御さんに利用してもらおう工夫など「園活」を推奨すべき。
- ・利用者の世代に偏りがあるため、すべての年代が利用したいと思う仕組み、仕掛けづくりが必要。

### ③THE シガパークビジョン骨子（案）について

- ・民間活用を進めるとあるが、民間に対して、「公園でできること」のアピールが必要。
- ・アンケート結果から飲食店などへの意識が高いが、これに対して具体的にどう取り組むかを書くべき。近隣の飲食店との連携、ケータリングサービスをアプリでつなぐなど。
- ・基本理念の“自然も健康になる”という発想は、滋賀らしく、また未来的（モア・ザン・ヒューマン）で良い。THE シガパークの目指す姿は、“人の暮らしと心、自然が健やかになる”、基本理念は、“互いに・・・”の前に「公園が」と入れるべき。また、自然・生き物の生き物は自然に含めて良い。
- ・基本理念の表現は、「結ぶ」でなく、「公園が」人と自然と地域を「つなぎ」、三方を健康にする、が良い。
- ・公園には、人間よりも虫や植物の方が多いため、たくさんの生き物が存在していることを感じてもらえる場所になるといい。
- ・イメージ図では、ペルソナとして各年代の多様な人に加え多様な生き物も入れて可視化することが必要。
- ・ペルソナを入れて、すべての人が自分ごとと思ってもらえるようなビジュアルにしたい。複数のペルソナが必要で、一枚のイメージ図では収まらないかもしれない。
- ・公園に育てられ、また公園を育てるという人材育成の視点でも価値を明示してほしい。
- ・利用者目線には、障がい者の目線、ユニバーサルデザインやインクルーシブデザインなどの言葉も入れてほしい。また、基本理念の「地域コミュニティ」は、自治会やまちづくり協議会などを指していると誤解されるため、「地域のコミュニティ」や「地域の市民活動団体等」にするなど、工夫が必要。
- ・THE シガパークは、横断的な取組であるからこそ、システム思考で考えていくべき。いかに来場者の体験満足度を上げるかが課題である。
- ・個別の公園の名称について、個別名称の「〇〇公園」、パークネットワーク、THE シガパーク、という3段階が良いのではないか。
- ・「メンバー」「ピース」など暮らす人達がわかりやすい名称にすべき。または意識を統一するという意味で「Be パーク」「Go パーク」なども良い。
- ・ご意見を参考に、引き続き検討していく。

以上